

**“村岡嗣政山口県知事と法人協との懇談会”を開催**

本協議会は9月11日、山口市名田島地区で村岡嗣政山口県知事との懇談会を開催しました。

村岡知事、県幹部職員、法人協役員等33名が出席。有限会社名田島農産（以下、名田島農産）での現地視察や同社の取り組みにかかる報告をはじめ、集落の実情や法人が抱える課題等について村岡知事と法人協役員が意見交換しました。

1. 現地視察

はじめに、名田島農産において現地視察を行い、同社の秋本清夫代表取締役が村岡知事に圃場や米粉製粉施設等を紹介しました。



視察前に挨拶を交わす村岡知事・法人協役員
村岡知事(右)、秋本代表取締役(中央)、中村会長(左)



米粉製粉施設で村岡知事に6次化の取り組みを紹介

2. 経営概要等にかかる事例報告

現地視察に続き、JA山口中央・名田島支所において、名田島農産の秋本代表取締役より、米粉加工による6次化の取り組みや、人材の確保・育成等にかかる事例報告を行いました。

また、同社に所属する若手就業者3名およびインターンシップ中の農大生1名も同席され、担当業務の内容や農業への思い等について村岡知事にPRしました。



秋本代表取締役より
名田島農産の取り組みを紹介



若手就業者の皆さんが村岡知事にPR

3. 意見交換

①法人間連携による経営体質の強化、②人材育成・後継者確保対策の2つのテーマをもとに、集落が抱える課題、県事業の必要性等について意見交換を行いました。

協議会の中村久会長は、「農業を取り巻く情勢はますます厳しくなるが、われわれは集落の力を結集し、難局を乗り切っていきたいと考えている。県など関係機関には積極的な提案・支援をいただきたい」と呼びかけました。

また、村岡知事は「現場のニーズに合った取り組みを進めていけば、将来の本県農業の発展につながる。皆さんの意見を聴きながら効果的な取り組みを進めていきたい」と、集落営農の取り組みに対し理解を示されました。

最後に、村岡知事を囲んだ記念撮影を行い、懇談会を締めくくりました。



“ソリマチ農業簿記を活用した会計処理研修会”を開催

7月4日、5日、6日の3日間、山口市のサンフレッシュ山口で“平成29年度ソリマチ農業簿記を活用した会計処理研修会”を開催しました。

県内各地の集落営農法人から、理事の皆さんをはじめ会計担当者の方など38名が参加。ソリマチ株式会社 農業情報事業部の岩下リーダーによる説明のもと、実際にパソコンを操作しながら農業簿記への理解を深めました。

“ソリマチ農業簿記システム”は、簿記の知識に自信がない方でも扱うことができますが、経営感覚を養う上で一定程度の会計知識を備えておくことは大切です。今回の研修会では、システム操作に加え簿記の基礎知識についてもお伝えすることができました。

今後も、研修会の開催など知識習得の場を設定していきたいと思えます。



百姓錬磨の会メンバーがJA青壮年部、就農支援塾生と交流

本協議会の若手法人就業者サークル“百姓錬磨の会”メンバーは、7月29日、JA長門大津管内で開催された「やまぐち農民塾」に参加し、地域農業の中核を担う“JA青壮年部”のメンバーおよび新たに就農を志す“やまぐち就農支援塾”の塾生と交流しました。

最初に、経営の効率化に向けた取り組みとして、長門市油谷の圃場でドローンを利用した栽培の取り組みを視察。続いて、各組織の取組紹介や視察の感想、日頃の営農活動等について意見交換を行いました。



ドローンを視察する若手就業者の皆さん

今回のイベントは、若手就業者、また農業を志す者が一堂に会し、農業に携わることの喜び、やり甲斐、悩みや苦労話などを共有できる絶好の機会となりました。

協議会では今後もこうした機会を提供し、営農技術の向上や仲間づくりに貢献していきたいと思います。



“百姓錬磨の会” “JA青壮年部” “就農支援塾” のメンバーが情報交換

“ふるさとやまぐち農林水産業新規就業ガイダンス” に出展

農林水産業への就農・就業の促進に向け、8月19日、山口県総合保健会館において“ふるさとやまぐち農林水産業新規就業ガイダンス”が開催されました。

各出展団体による情報提供や就業希望者との個別相談等が行われ、本協議会も出展し、集落営農の取り組みにかかる情報提供を行いました。

県内はもとより、県外から来場された方も見られるなど、本県の第一次産業への関心の高さをうかがうことができました。

来場された方の中には、「直接話を聞くことができ、知りたかった情報を得ることができた」「会社見学の予約ができてよかった」などの声が聞かれました。

ガイダンスへの参加が次のステップへと進む契機となるよう、今後も出展を通じ有益な情報提供に努めていきます。



法人協ブースで情報提供

“やまぐち移住就農セミナー”に出展

本協議会は、東京で開催された“やまぐち移住就農セミナー”（5月、6月、8月）に出展しました。セミナーには山口県の農業や暮らしに興味の持たれる首都圏在住の方が参加され、自身の夢や疑問に思われる点などについて担当者と意見交換しました。

セミナーでは、山口県の観光資源や地勢・気候、交通アクセス等の概要をはじめ、就農に向けたステップ、各種支援制度等についての情報提供や、先輩就農者の生の声として農業に携わることの喜びや苦勞、就農への心構え等、自身の体験をふまえた事例紹介を行いました。

セミナーに来場された方からは、

- 農業や地域興しに興味があり、転職・移住を考えている
- 個人で就農するには技術習得や住居問題を含め不安要素が多く、集落ぐるみの農業に興味がある
- 山口県には行ったことがなかったが、今回の説明を聞いて移住を検討したいと思ったといった声が聞かれました。

山口県の魅力、農業の魅力を感じていただき、一人でも多くの方の移住・就農につながるよう、引き続き有益な情報提供に取り組んでいきます。



先輩農業者が農業のいろはを説明
(江越正和さん：防府市)



山口県内における農業支援策等を紹介

～お知らせ～

山口県集落営農法人連携協議会では、ホームページの運用を行っています。行事を行った際などに記事をアップしていきますので、ぜひご覧ください！

- 「山口県集落営農法人連携協議会」で検索いただくか、以下の URL から閲覧できます。

<http://y-ninaite.jp/renkeikyogikai>

- 「書庫」のパスワード → renkei0422



